



Lion

最上川



鶴岡放送児童合唱団の子供たちと



鶴岡市 藤島 / 藤の花

ガバナー・テーマ

～次なる 100 年への歩み～

「子供たちの未来へ手を差し伸べて行くライオンズを築こう」

アクティビティスローガン

「時代と地域に求められる奉仕を」



振り返り、そして前進を

332-E地区

地区ガバナー L. 伴 和香子

あまりにも厳しい冬の寒さに体調を壊したり、除雪に難儀された方も多かった事でしょう。しかし、黄梅や早咲きの椿の花が室内で咲き始め春が近付いている事を知らせてくれます。

新年が明け、今期前半の振り返りと後半への前進への節目の時を迎えました。各クラブにおいて冬期に不足が心配されている献血への取り組みや青少年育成・被災地支援・薬物乱用防止教室等たくさんの奉仕事業に熱心に取り組んでいただいております、感謝に堪えません。

昨年末には、国際会長ナレッシュ・アガワルと国際第一副会長グドラン・ビョート・イングバドターが相次いで来日しました。特に女性初の国際会長を目差すグドランは、女性のインクルージョン（参加と関与の向上）を強く訴え、女性50%・男性50%のライオンズを目差す事を含めて、新しい風を受けて・大きな視野で・強固な基礎で未来を見据えた設計をしてほしいと、全国から集まった大勢のライオンに対してメッセージを熱心に語りました。

国際会長ナレッシュ・アガワルからは、徹底した「会員増強」とGSTのチーム力を活かした世界に求められている奉仕の実践、そして人道奉仕としてのLCIFへの献金への取り組みの強化を求められ、日本の3063あるクラブひとつひとつの小さな積み上げに大いに期待する旨が語られました。会員増強への新しい取り組みとして、従来進めている家族会員の増強とさらにスペシャルティ・クラブ（特技・趣味・共通の背景などを持つ会員によるクラブ）を支部クラブ結成や新クラブをエクステンションする事に活用しようとする考えと共に、日本コーディネーターとしてこれまで332-E地区で開催された各種セミナー講師としてご指導頂いた333-C地区元地区ガバナーL. 吉原稔貴が任命された事が発表されました。

当地区でも昨年12月に実施された「次世代リーダーシップサミット」は、新しい発想と企画内容が画期的なものでしたし、今後予定されているGLT主催の「We Serve 選手権コンテスト」や、会則・長期計画リサーチ・アラート委員会主催の「332-E地区アラートサミット」の発表やディスカッション・ライオンズの奉仕の有り方に、大いに刺激を与えるものとして期待しています。又、国際関係・奉仕事業・環境保全委員会が新しい奉仕として「スナノミ」の被害に苦しむ人々のために“スニーカー”を送る活動を始めましたが、地区内のクラブより500足ものスニーカー寄贈のご奉仕をいただいた事を嬉しくご報告させていただきます。

昨年12月1日には「332-E地区第64回地区年次大会」の実行委員会が立ち上がり準備を始めました。期日は2018年4月29日(日)に鶴岡市の新文化会館「荘銀タクト鶴岡」で開催予定です。大会記念演奏として世界的に著名な左手のピアニスト館野 泉とヴァイオリニスト ヤンネ館野の父子コンサートを予定しております。

善き奉仕・善き仲間が集う332-E地区を目差し、頑張ってください。



第2回 キャビネット会議開催

332-E地区キャビネット会計
L. 有賀 昭彦

2017年11月28日(火)332-E地区第2回キャビネット会議が秋晴れの下、鶴岡市のグランドエル・サンで開催されました。

会議の進行をキャビネット副幹事 L.佐藤恒行が務め、キャビネット構成員、出席者の紹介、地区ガバナー L.伴和香子より挨拶をされ、その中でGLT・FWT・次世代リーダーシップ委員会合同の小児がん征圧「天使の泉・Dr. 細谷亮太氏の講話とチャリティーコンサート」開催に当たり、区内会員各位の多大なるご協力に対し感謝の言葉がありました。続いて第1回キャビネット会議議事録の朗読を経て議案審議に入りました。

第1号議案第64回332-E地区年次大会を2018年4月29日(日)鶴岡市「荘銀タクト鶴岡」でガバナー晩餐会を鶴岡市グランドエルサンで開催する旨提案され全会一致で承認されました。

議案3号で次年度ガバナー及び第1、第2副地区ガバナー選出の手順が提案され承認を得ております。

議案4号で第4回キャビネット開催日程について審議されております。当地区では慣例として第4回キャビネット会議は毎年6月に開催して参りましたが、2017~2018年ライオンズ必携の60項に「第4回キャビネット会議は地区年次大会の少なくとも30日前に開く」の記載に倣うとともに、332複合地区準地区の第4回キャビネット会議開催日程に足並みを揃えたいとの考えから2017~2018年度第4回キャビネット会議は地区年次大会の少なくとも30日前の開催日程にすることを提案、全会一致で承認されました。従いまして、今後の日程、スケジュールを次のように変更されます。第2回キャビネット会議を11月中に、第3回キャビネット会議は2月中に、第4回キャビネット会議を3月29日に開催。地区年次大会は4月29日に開催となります。前年度6月に開催して参りました第4回キャビネット会議後の懇親会(反省会)は日を改めキャビネット構成員、有志による反省会を6月に開催したい。尚、内容につきましては332-E地区キャビネット鋭意協議し構成員皆様にご案内させていただくことと承されました。

その後、各コーディネーター、ZC、委員長の報告、地区LCIFコーディネーターより今までのLCIF献金状況の説明があり、現在332-複合地区で献金者並びに献金額が最低であり、今後なお一層の協力要請がなされております。又、地区GLT(グローバル指導育成チーム)コーディネーターからは、GSTとの共同企画「We Serve」選手権開催に当たり、2月末までにゾーン大会、3月に準地区大会を実施する事の説明、各ZCを中心に取組んで頂きたい再度の(第1回キャビネット会議で提案説明済み)申し入れがあった。その後、各ZCよりゾーンの活動状況、今後の課題等報告が行われております。

最後に決議事項の確認をしてガバナー L.伴和香子の閉会宣言、閉会ゴングで無事終了しました。キャビネット構成員各位におかれましては、長時間の慎重審議、大変ご苦勞様でした。



次世代リーダーシップサミット

次世代リーダーシップ研究会

委員長 L. 遠藤 隆 一

2017年12月5日、湯野浜温泉・愉海亭みやじまを会場に、猛吹雪の悪天候の中、県内外から約90名もの参加者を迎え開催されました。

「地域で活躍するリーダーの姿に学び、情熱に火をつける!」をテーマに開催されたサミットは、第1部「講演」と、第2部「パネルディスカッション」からなる2部形式。第1部では、南陽市を拠点にバリアフリー活動を推進する加藤健一氏と、米沢市でフリースクールを中心に悩める若者の自立支援活動を行う白石祥和氏、ご両名よりそれぞれ下記の演題でご講演をいただきました。

①『地域で支える若者の未来 ～失敗してもいい、挑戦できる社会～』

特定非営利法人 With優 代表 白石祥和氏

②『こころのバリアフリー ～ひとりのハートが世界を変えられる～』

Gratitude代表／一般社団法人山形バリアフリー観光ツアーセンター代表理事 加藤健一氏
白石氏は、ご自身が経験した挫折、不遇を乗り越え、支援者を募りフリースクールを設立した経緯、そして「どんな子どもも大人も居場所と役割を持てるような地域社会の実現」に向けた熱い思いを語り、加藤氏からは、ご自身が21歳の若さで難病・筋ジストロフィーの診断を受け、歩行困難となった失意の日々から立ち直り、現在の活動に至った経緯、そして「バリアフリー社会の実現」に向けてこれからも挑戦し続ける決意が述べられ、会場では感銘を受けた多くの方々が涙する姿が見られました。

続く第2部では、伴地区ガバナー、浅賀第一副地区ガバナー、伊藤第二副地区ガバナー、そして、講師のお二人をパネラーに迎え、「次世代を担うリーダーの必要条件とは?」、「時代が求める奉仕とは?」など、あらかじめ用意された5つのテーマにそって熱いディスカッションが繰り広げられました。

サミット終了後に用意された懇親の席では、講師両名に賞賛の声が寄せられ、「まだまだ私たちがやれること、やるべきことに気づかされた」、「勇気をもらえた」など、参加者の熱冷めやらぬ様子に、サミットの確かな手ごたえが感じられました。

時代の変化とともに我々ライオンズクラブを取り巻く環境もニーズも大きく変わってきています。今後ライオンズクラブが衰退することなく、更なる繁栄の道を歩めるよう、ハートに情熱の火を燃やし続けてまいりましょう。





2017年12月5日(火)に次世代リーダーサミットが、湯の浜温泉の“愉海亭みやじま”で開催されました。「次世代(これからの100年を見据えた)においての奉仕の在り方」を改めて考えさせられる大変素晴らしいサミットでした。その中のお二人の講演内容です。

- 1、最初の講演は、障害を持つことや精神的な病の為に世の中に出られない子供たちの為に支援の必要性を感じ自らフリースクール “With 優” を立ち上げた白石祥和さんのお話でした。白石さんは、消防士になる夢が叶わずご自分の道にも迷っている時、まともに学校に行けない子供たちの多いこと、勉強しても受け入れてくれる所の少ないこと、勇気を出して社会に出ても「失敗してはいけない」とのプレッシャーから失敗する子たちの多いことを見て、学校教育と実社会で求められる力のギャップを感じ、このフリースクールを立ち上げたのでした。白石さんは、いつもその子供たちに、

「失敗しても大丈夫。戻っておいで」と、声を掛けて上げているそうです。

講演の後、パネルディスカッションがあり Q1から Q5までの質問がありました。その中から講演者の方の部分だけ抜粋して記します。(Q5は、LC発展について(省略))

Q2：組織を活性化するのに必要なものは？ A；自分を批判する人を排除しない。

Q3：時代のニーズ求める奉仕とは？ A：学校に行けない子供達10年後には働ける人材に。

Q4：次世代を担うリーダーの必要条件とは？ A：目の輝く存在であること。

大変素晴らしい講演で、感動いたしました。

- 2、次の講演は、20歳までは全く普通の体だったが、21歳に難病の筋ジストロフィーになり、その後もリハビリで歩行訓練をしたり、独学でCADを学ぶ等して社会での活動を試みましたが32歳で歩行困難になり車椅子生活になりました。「何とか前向きに生きたい」「車いすでのパラグライダーに挑戦したい」「自分と同じ車椅子生活の方にもパラグライダーを体験させたい」との思いから観光ツアー会社を立ち上げた加藤健一さんの熱いお話でした。お話の中で大変印象に残ったのは、

①障害者788万人、高齢者3500万人合計4288万人、日本の3分の1に当たること

②ご自分の中で一番のバリアは「自分の心の中」

③筋ジストロフィーになった時、友人の方が「お前との友人関係は病気になろうが、今もこれからは変わらない。俺たちも一緒に病気と闘う」この言葉でした。

加藤さんは、この友人の言葉で救われたそうです。

④健常者と障害者との溝の大きさ。

⑤昨日まで出来ていた当たり前が出来ない。普通に出来ることがどれだけ幸せか。

⑥失ったことは数えるな。etc. パネルディスカッションで、加藤さんは、

Q1：夢を実現する行動力の源は？ A；夢を見る。語ること。

Q2：組織を活性化するのに必要なものは？ A；福祉を多くの人に知って貰う為に嫌々ではなくワクワクなる様に行動する。お互いを認め合い、力を出し合う。

加藤さんの熱いお話から当たり前に感謝することの大切さと、ライオンズクラブの活動の大切さを改めて痛感しました。

鶴岡LC L.西川 俊行



第56回 オセアルフォーラム

2017年11月18日～20日 in台湾・台南 高雄

地区ガバナー L.伴 和香子



第56回東洋・東南アジア・ライオンズオセアルフォーラムが、台湾の台南市で開催された。

台南を主会場としながらも開会式・閉会式は高雄アリーナで行われ、参加者は両都市を移動しながら各行事をこなしていく形となり、日程がタイトである感は否めなかった。しかしながら、台湾到着地の台北・各種会議の主会場台南・開会式、閉会式会場の高雄と、正に台湾を縦断する事となり、

温かく緑あふれるフルーツ王国を満喫しながらも台湾の数奇な歴史を尋ねる旅ともなり、隣国との様々な問題に揺れる日本人にとっては意義深いものであったように思う。

参加人数は、24584名。内訳は、MD300の台湾が19830名、フィリピンMD301が224名、香港・マカオMD303が280名、マレーシア・シンガポール・ブルネイMD308が93名、タイMD310が210名、日本MD330～337が2459名、韓国MD354～356が1249名、中国MD380～394が150名、グアム・ミクロネシア等MD204が44名、他の外国より50名であり、開催地台湾よりの参加者が圧倒的な名数を誇り、次いで日本・韓国からの参加者が目立ち国際役員より国際大会に匹敵するような大会との発言もあった。2018年～2020年の国際理事候補が、日本・韓国・台湾より立候補している事も同時に領けた。又第2回協議会議長と地区ガバナー会議の席上にて、中国の協議会議長より中国の会員が4600人に達し、LCIFに450万ドルを寄付した実績をもって、国際理事候補者を中国人に、との要望が出た。カジット・アバナナダ元国際会長が最終日に、毎年オセアルフォーラムへの協議会議長と地区ガバナーの会議出席は必須であり、会議の内容を地区へきちんと伝える事が何より大切である旨のお達しがあったので、以下会議の内容を要約する。

- ①・第57回オセアル開催地 中国 海南島（省）
- ・第58回オセアル開催地 日本 広島市（MD336地区がアシストする）
- ・第59回オセアル開催地 韓国 濟州島（MD354地区がアシストする）





② 2018年～2020年 オセアルより3名の国際理事候補者、日本の安澤国際理事候補・韓国のキム国際理事候補・台湾のファン国際理事候補を推薦する事を可決した。

③ 国際第3副会長候補のエンドースメントとしてブライアン・シーハン元国際理事が立候補。(アメリカミネソタ州)

④ オセアルよりの国際理事選任の件については、質の高い候補者・若い優れたリーダーをオセアルの代表者として推選する事が将来のライオンズにとって最重要と考えてほしい旨の発言があった。この件はその後国際理事会の会則及び付則委員会で審議をされローテーションシステムは国際付則と整合していないとの結論が出た事を各地区内全クラブに周知徹底するよう伝達があった。

⑤ 第101回国際大会アメリカラスベガス大会のテーマは、自然保護に関する奉仕に関心を向ける主旨になる事が発表された。

簡素化と、より実用的なフォーラムの実現を目指すフォーラム委員会の意図はある程度成功したが、一方で参加者が混乱する場面がいくつか有り残念だった。

開催直前にセミナー会場やホテルの割り当てが二転三転したため、事前登録していたのに、キッドが作成されておらず、再登録の手続きを余儀なくされたり、ガバナー指定のホテルに予約の名前が無い等の混乱があった。又開会式も総統の出席のために厳しいセキュリティーチェックが実施され、人々の入場に大混乱を来し30分以上遅れての開始となった。

そんな中、通訳のボランティアの学生や運営スタッフの若者達が混乱に熱心に立ち向かい、問題解決に取り組んでくれた真摯な態度に非常に好感を持った。

来年は、初の中国海南島での開催。全体の統率がうまくコントロールされ、快適なオセアルフォーラムになる事を期待したい。



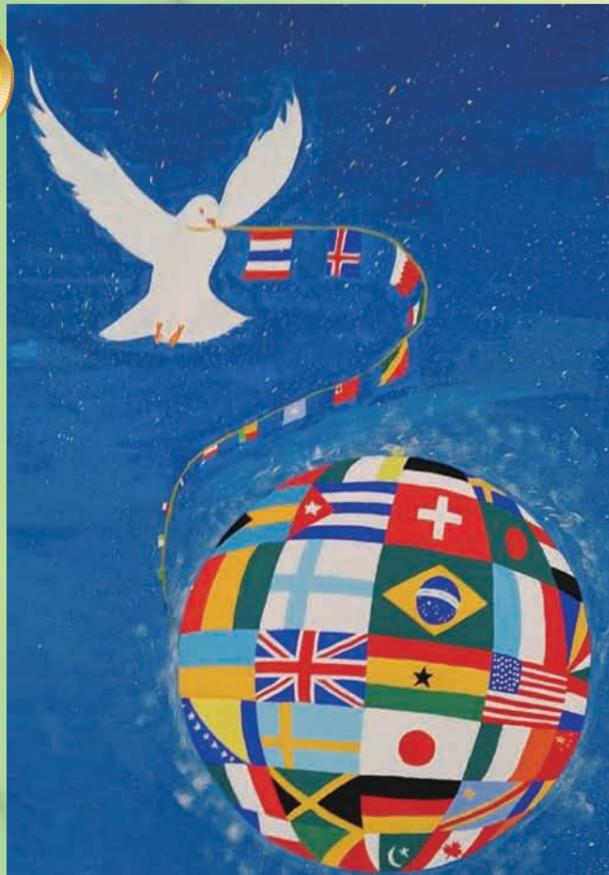
国際平和ポスターコンテスト

2017~2018年度

テーマ「平和の未来！」 332-E地区入選者決定

テーマ「平和の未来」332-E地区入賞者
 特別賞…3点(332複合地区へ)
 地区最優秀賞(地区ガバナー賞)
 遠藤詩杏さん(米沢市立第二中学校1年)
 PR・ITライオンズ・情報委員長賞
 濱谷小粋さん(南陽市立宮内中学校1年)
 地区優秀賞
 藁科ひなたさん(米沢市立第二中学校1年)
 入選…5点
 島貫真瑚さん(米沢市立窪田小学校6年)
 寒河江望功さん(米沢市立窪田小学校6年)
 渡部蘭さん(米沢市立第五中学校1年)
 齋藤暖太さん(酒田市立亀ヶ崎小学校6年)
 遠田大和さん(酒田市立第二中学校1年)

地区最優秀賞(地区ガバナー賞)



米沢市立第二中学校 1年
 えん どう し あん
 遠藤詩杏

PR・IT・ライオンズ
 情報委員長賞



南陽市立宮内中学校 1年 はま や こ いき
 濱谷小粋

地区優秀賞



米沢市立第二中学校 1年
 わら しな
 藁科ひなた

入選



米沢市立窪田小学校 6年
 し ま め き ま こ
 島貫真瑚

● 応募参加総数合計 195点(参加校総数16校)
 ● キャビネット送付合計26点
 ● 審査会 2017年11月28日 於 グランドエル・サン
 【審査報告】PR・IT・ライオンズ情報・大会参加委員会委員長 L. 寒河江潤一
 2017年11月28日第2回キャビネット会議が、グランドエル・サンで開催され、終了後に地区内から応募されたポスターの審査会が行われた。2017~2018年度のテーマ「平和の未来」に沿って、厳正な審査をした結果、地区最優秀賞・PR・IT・ライオンズ情報委員長賞・地区優秀賞と、入選5点が選ばれました。上位3点は332複合地区の選考会に選出されました。12月7日に行われた複合地区選考会では、地区最優秀賞の遠藤詩杏さんの作品が、惜しくも次点で優秀賞に選ばれました。今回は米沢からの作品が多かったようです。各クラブともご協力ありがとうございました。

入選



米沢市立第五中学校 1年
 わ た な べ
 渡部蘭

入選



米沢市立窪田小学校 6年
 さ が え み く
 寒河江望功

入選



酒田市立亀ヶ崎小学校 6年
 さ い
 齋藤暖太

入選



酒田市立第二中学校 1年
 えん
 遠田大和



夏川りみ

東日本大震災復興チャリティーコンサート

1 R 2 Z山形霞城ライオンズクラブ

幹事 L.大風 亨

去る平成30年1月27日山形テルサホールにて、会長アクティビティーとして夏川りみ東日本大震災復興チャリティーコンサートを開催いたしました。今年度カバナー重点目標の「東日本大震災復興の支援を継続して」さらにGSTの目標であります障害者への支援を達成すべく、市民を巻き込んだアクティビティーとして約7ヶ月の期間をかけ取り組んでまいりました。

当日は、雪の影響が心配されましたが710名を超えるお客様よりお集まりいただき、コンサートは無事大成功に終わりました。また当日チャリティーボックスもご用意させていただき67,779円のご寄付も頂戴いたしました。

支援といたしましては、宮城県立支援学校女川高等学園様にカフェ用大型テーブル1台・椅子8脚を寄贈することができました。さらにコンサート当日は、被災地より山形市へ避難されている788名の避難者の中から60名をコンサートへご招待し大変喜んでいただきました。

この度のアクティビティーで、人と人とのつながりの大切さそして人の優しさを強く感じました。これからも山形霞城ライオンズクラブは人と人とのつながりを大切に「WeServe」の精神で活動して参ります。



YCE生

美しい景色を堪能できた20日間

四釜 佑香 (長井ライオンズクラブより派遣)

私はYCE派遣生としてオーストラリアビクトリア州のカリスブルックに行ってきました。牧畜が盛んなところで、見渡す限り羊、馬、牛が飼われていて、馬やアルパカを間近で見ることができました。写真を撮ることが趣味だったため毎日カメラを持ち歩き、空や植物をたくさん撮ることができました。特に思い出深いのは、敷地内を散歩しながら見た夕日です。レンズ越しのまぶしさに目をつぶるほど綺麗で暖かくて、心を奪われる美しさでした。

ダンス発表会で初めてバレエを見たり、ホームステイ先の長女の劇のおけいこを見たり、日本以外の幼稚園や小学校に初めて入らせていただくという貴重な経験もできました。また6人のお子さんたちと過ごす中で、英語で会話したり、絵本の読み聞かせをしたり、宿題を見たり、家族の一員のような体験&学習をさせていただきました。私の拙い英語を笑顔で聞いてくださる皆さんに、もっと

英語で話せるようになりたいと心から思いました。とても温かいホストファミリーでした。

振り返ってみると、20日間はあっという間で、未練や後悔もあります。しかし、英語を学びたい、海外をもっと知りたい、また行きたいと思えるようになったことが自分にとって何よりの収穫だと思っています。背中を押してくれた家族や支えてくれた友達、大学の方々、そして何よりもライオンズクラブの方々に感謝しています。ありがとうございました。





マンスリーレポート クラブ別一覧表

2018.1月

R	Z	クラブ名	会員移動状況					家族会員		金銭アクティビティ		別アクティビティ		献血		献腎	献眼	LCIF 金額	出席率 %		
			年初	月初	目標	入会	退会	現在	世帯数	子会員数	件数	金額	件数	人数	受付者数					献血者数	
1	1	山形	50	50	2	0	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73.0	
		山形蔵王	33	33	2	0	0	33	0	0	1	5,000	0	0	0	0	0	0	0	84.8	
		上山	49	50	3	0	0	50	18	18	1	3,024	1	1	14	12	0	0	0	95.0	
		山形中央	41	40	2	0	0	40	3	3	1	44,064	0	0	0	0	0	0	0	72.5	
		山形センチュリー	21	20	2	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	87.5
		上山あららぎ	35	35	3	0	0	35	4	4	2	8,257	0	0	0	0	0	0	0	0	72.8
	小計	229	228	14	0	0	228	25	25	5	60,345	1	1	14	12	0	0	0	0		
	2	山形霞城	121	124	2	0	0	124	35	42	3	25,624	3	6	130	118	0	0	0	68.9	
		山形千歳	39	38	3	0	0	38	5	5	3	148,500	1	7	20	17	0	0	113,000	68.1	
		山形紅花	39	38	3	0	0	38	0	0	3	57,146	3	24	0	0	0	0	0	75.0	
		山形羽陽	35	37	3	0	0	37	6	6	1	7,344	1	19	34	31	0	0	0	74.1	
		山形アルカディア	30	30	2	0	0	30	7	7	1	6,477	0	0	1	1	0	0	0	75.0	
		小計	264	267	13	0	0	267	53	60	11	245,091	8	56	185	167	0	0	113,000	0	
	合計	493	495	27	0	0	495	78	85	16	305,436	9	57	199	179	0	0	113,000	0		
2	1	米沢	50	51	9	0	0	51	15	29	1	400	2	2	49	43	0	0	113,000	57.8	
		米沢中央	25	28	2	0	0	28	0	0	1	400	5	5	49	43	0	0	0	48.2	
		米沢松岬	19	17	3	0	0	17	1	1	1	10,000	3	3	49	43	0	0	0	41.1	
		米沢松川	39	40	12	0	0	40	7	17	1	414,733	7	25	49	43	0	0	0	67.5	
		小計	133	136	26	0	0	136	23	47	4	425,533	17	35	196	172	0	0	113,000	0	
	2	南陽	46	46	5	0	0	46	0	0	4	43,391	2	2	44	39	0	0	0	64.1	
		川西山形	19	22	5	0	0	22	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	88.6	
		高畠	59	61	4	0	0	61	11	14	1	10,800	1	21	55	45	0	0	0	52.4	
		長井	50	47	4	0	0	47	7	7	3	13,000	2	2	0	0	0	0	51,980	55.3	
		飯豊	23	23	2	0	0	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60.8	
		白鷹	38	37	2	0	1	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76.6	
		小計	235	236	22	0	1	235	25	28	8	67,191	5	25	99	84	0	0	51,980	0	
		合計	368	372	48	0	1	371	48	75	12	492,724	22	60	295	256	0	0	164,980	0	
		3	1	河北	44	40	2	0	0	40	10	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0
寒河江	42			43	3	0	0	43	14	14	2	10,500	3	5	0	0	0	0	0	90.6	
西川	33			32	1	0	2	30	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	78.1	
中山	18			18	1	0	0	18	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	77.7	
寒河江臥龍	59			60	5	0	0	60	13	13	3	33,100	4	39	0	0	0	0	113,000	45.0	
小計	196			193	12	0	2	191	39	40	5	43,600	7	44	0	0	0	0	113,000	0	
2	天童		31	31	2	0	0	31	0	0	3	19,724	1	1	10	9	0	0	0	96.7	
	天童王将		62	62	4	0	1	61	8	11	2	9,330	1	1	17	15	0	0	0	93.4	
	天童舞鶴		47	48	5	0	0	48	7	7	2	3,751	2	5	12	11	0	0	113,000	85.4	
	天童中央		54	53	3	3	0	56	4	4	2	9,330	2	3	16	15	0	0	0	94.6	
	天童もみじ		12	13	2	0	0	13	2	2	2	6,730	1	1	4	3	0	0	0	100.0	
	小計		206	207	16	3	1	209	21	24	11	48,865	7	11	59	53	0	0	113,000	0	
	合計		402	400	28	3	3	400	60	64	16	92,465	14	55	59	53	0	0	226,000	0	
	4		1	村山	32	32	4	1	0	33	10	11	4	35,000	5	8	0	0	0	0	0
東根		27		27	3	0	0	27	4	6	1	15,400	1	4	40	40	0	0	0	74.0	
尾花沢		42		43	6	0	0	43	12	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51.1	
大石田		38		37	3	0	0	37	4	5	0	0	1	13	0	0	0	0	0	77.0	
東根さくらんぼ		48		50	3	0	0	50	10	10	8	94,250	7	15	63	60	0	0	0	83.7	
小計		187		189	19	1	0	190	40	45	13	144,650	14	40	103	100	0	0	0	0	
2		新庄	22	22	5	0	1	21	4	4	1	50,155	1	6	0	0	0	0	0	76.7	
		真室川	37	37	3	0	0	37	2	2	2	16,000	0	0	0	0	0	0	0	70.2	
		金山	17	19	4	0	1	18	6	6	1	10,000	0	0	0	0	0	0	0	58.3	
		新庄もがみ	20	20	4	0	0	20	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76.3	
		新庄ニューセンチュリー	35	35	3	0	0	35	3	3	1	60,000	1	12	0	0	0	0	0	57.1	
		新庄もみの木	23	22	3	0	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	59.0	
		小計	154	155	22	0	2	153	16	16	5	136,155	2	18	0	0	0	0	0	0	
		合計	341	344	41	1	2	343	56	61	18	280,805	16	58	103	100	0	0	0	0	
5	1	酒田	81	78	5	1	0	79	25	31	1	3,000	2	25	73	65	0	0	0	71.8	
		余目	19	19	3	0	0	19	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55.2	
		酒田みなと	37	37	3	0	0	37	9	12	1	7,620	1	3	24	21	0	0	0	68.9	
		酒田山王	7	8	3	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81.2	
		酒田シーサイド	29	29	2	0	0	29	0	0	1	40,000	1	12	0	0	0	0	0	58.6	
		酒田さわやか	13	13	3	0	0	13	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	73.0	
		小計	186	184	19	1	0	185	38	47	3	50,620	5	43	97	86	0	0	0	0	
	2	鶴岡	37	36	6	5	0	41	6	8	0	0	1	6	50	45	0	0	0	77.7	
		鶴岡朝暘	31	31	2	2	0	33	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51.8	
		三川	22	22	1	0	0	22	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65.9	
		羽黒	18	19	3	1	0	20	8	8	2	30,000	0	0	0	0	0	0	0	40.0	
		鶴岡鶴陵	40	41	2	0	0	41	10	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76.8	
		藤島	43	43	3	0	0	43	0	0	0	0	1	4	53	44	0	0	0	40.6	
		鶴岡中央	38	41	3	0	0	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54.8	
鶴岡ナイスアロー	10	6	5	2	0	8	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31.2			
小計	239	239	25	10	0	249	36	40	2	30,000	2	10	103	89	0	0	0	0			
合計	425	423	44	11	0	434	74	87	5	80,620	7	53	200	175	0	0	0	0			
地区合計	2,029	2,034	188	15	6	2,043	316	372	67	1,252,050	68	283	856	763	0	0	503,980	0			



ライオンズクラブ国際協会332-E地区
2017~2018年度

第64回 地区年次大会

開催日：2018年4月29日(日)

代議員会	荘銀タクト鶴岡 (鶴岡市文化会館)・鶴岡市商工会議所	9:30~
地区年次大会式典	荘銀タクト鶴岡 (鶴岡市文化会館)	13:00~
記念コンサート	荘銀タクト鶴岡 (鶴岡市文化会館)	14:30~
ガバナー晩餐会	グランドエル・サン	16:00~

ごあいさつ

ライオンズクラブ国際協会332-E地区 第64回地区年次大会
大会委員長 L. 黒井 文昭

今年の鶴岡はひさしぶりの大雪でした。しかし3月になりようやく春の気配が感じられるようになりました。

さて来る2018年4月29日(日)にライオンズクラブ332E地区第64回地区年次大会を鶴岡市で開催する事になりました。当日は山形県知事・鶴岡市長をはじめ多数のご来賓をお迎えし、私共5R2Zの8クラブのメンバー全員が心を込めて地区の皆様をお迎えする所存です。

332E地区で初めての女性ガバナーであります『伴和香子』ガバナーがガバナー・テーマ~次なる100年への歩み~「子供たちの未来へ手を差し伸べて行くライオンズを築こう」アクティビティスローガン「時代と地域に求められる奉仕を」掲げて1年間がんばって活動してまいりました。この地区年次大会が活動の集大成であります。県内各地より多数のライオンが参加されますよう心よりお願い申し上げます。又、皆様の印象に残る地区年次大会になるように努力してまいります。

多数のライオンズメンバーの参加をお待ちしております。「いっぱい来てくれの一」

ライオンズクラブ国際協会332-E地区 第64回地区年次大会
大会実行委員長 L. 山本 節子

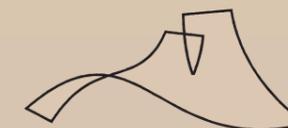
昨年11月30日、地区年次大会第1回実行委員会が開催され、いよいよ本格的な大会活動がスタートしました。今まさに伴ガバナーの“思い”に相応しい“おもてなし”を具現化すべく、5R2Zの老若男女の会員が適材適所に配置され、一丸となって智恵と労力を出し合っている最中であります。

新文化会館『荘銀タクト鶴岡』の制約のある使用方法に戸惑いながらも、時には熱く、時には冷静なライオンズマンを頼もしく感じ、また、快くおもてなし隊に協力してくれるライオンレディ達に感謝いたします。

与えられた任務を『義務と思わず、誇りに思おう』の合言葉で頑張っている私共の、楽しいアイデア満載の地区年次大会にぜひご参加ください。楽しめませ！！



▲荘銀タクト鶴岡



荘銀タクト鶴岡
SHOGIN TACT TSURUOKA

本綴帳のデザインは、日本画家・千住博さんによる「水神」。出羽三山の雪解け水や月山の豊かな水資源をイメージさせる作品で勢いよく流れる滝のようにさまざまな芸術文化が絶え間なく創造されるよう期待が込められている。綴帳は、ウール・スフ・シルクを素材に山辺町のオリエンタルカーペットが制作した。

式典当日は舞台の反響板と本綴帳を併用使用する事が出来ないため、当紙面より紹介いたします。



© Yuko Hashimoto

Violin ヤンネ 館野
Janne Tateno

館野 泉 & ヤンネ 父子コンサート

～左手ピアノとヴァイオリンによる粋でシャレたジャズとタンゴ&深く心に響く左手ピアノソロ～

Concert Program
2018. 4. 29

2002年、60歳を過ぎ演奏生活40周年の世界的ピアニスト館野泉はコンサートのステージ上で倒れ右半身不随となった。2年半後、左手で弾くピアニストとして再び演奏活動を始める。父館野泉を素直に、音楽へ、ピアノへ向き合わせたきっかけとなったのは、息子ヤンネが何気なく、そっと置いていったひとつの楽譜だった。「僕はその譜面を弾いたとたんに、目の前に蒼い大海原が現れ、水面がうねり、漂い、波が爆せて飛沫を上げているような気がしたのです。脳溢血で倒れてからの僕は、左手のための曲があることを知っていても、見向きもしませんでした。ピアニストとしての復帰は、両手が使えてこそと思っていたのです。でも、息子のヤンネが持ってきた楽譜を見た瞬間、僕を閉じ込めていた厚い氷が溶けて流れ去って、世界が開かれたかのようなのでした。『左手でも充分にして。十全な音楽表現ができる』と実感できたのです。(館野泉著書『左手のコンチェルト』より)



© 表昭 (RAE-SO)



© 武藤 章

Piano 館野 泉
Izumi Tateno

1936年東京生まれ。1960年東京藝術大学首席卒業。1964年よりヘルシンキ在住。演奏会は世界各地で3500回以上、リリースされたCD・LPは130枚にのぼる。1981年よりフィンランド政府の終身芸術家給与を得て演奏活動に専念。1996年外務大臣表彰受賞。02年脳出血により右半身不随となるが、2004年「左手のピアニスト」として復帰。2006年左手作品の充実を図るため「館野泉左手の文庫(募金)」を設立。2012年NHK大河ドラマ「平清盛」テーマ曲を演奏。同年よりベルリンやデュッセルドルフほかドイツ各地、パリ、トゥールーズ、ウィーン、ブタペスト、チェコやフィンランド、エストニア、モンゴルなどで海外公演を行う。左手ピアノ音楽の集大成「館野泉フェスティバル～左手の音楽祭2012-2013」を開催。2014年ベルリン・フィルハーモニー・カンマザール、2015年パリでのリサイタルは聴衆総立ちの拍手で讃えられた。シベリウス・メダル、旭日小綬章受章、東燃ゼネラル音楽賞本賞受賞。著書「ひまわりの海」(求龍堂刊)、「命の響」(集英社刊)ほか。最新CD「サムライ」(エイベックス・クラシックス)は「レコード芸術」誌の特選盤に選ばれる。南相馬市民文化会館(福島県)名誉館長、日本シベリウス協会最高顧問、日本セヴラック協会顧問、サン＝フェリクス＝ロウラゲ(ラングドック)名誉市民。

フィンランド・ヘルシンキ生まれ。ヘルシンキ音楽院にてシルッカ・クーラ、オルガ・パルホメンコ、シカゴ芸術音楽学院にて森悠子各氏に師事。室内楽をイェルツイ・ゲベルト、バロック音楽をデビッド・シュレーダー両氏より学ぶ。98～07年オウルンサロ音楽祭(フィンランド)に出演。05年シューベルトティアータンバ音楽祭のシンボルアーティストとして招聘される。07、08年オウルンサロ音楽祭(音楽監督・館野泉)の日本版をプロデュース。08～10年セヴラック音楽祭(フランス)、森と水月光の調べフェスティバルに出演。ソリストとして東京エラート室内管弦楽団、山形交響楽団などと共演。11年12月東京文化会館にてデビューリサイタルを行い新聞、音楽誌などで高評を得る。15年ヘルシンキにてW.ケンプのヴァイオリンコンチェルトを好演。現在横浜に在住し、日本各地にて室内楽、オーケストラ奏者、ソリストとしても活躍。97年に自身が結成したヘルシンキを拠点とするラ・テンペスタ室内管弦楽団(フィンランド)のコンサートマスター、音楽監督を務める他、山形交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者、森悠子主宰長岡室内アンサンブルのメンバーとしても活躍。またアルゼンチンタンゴグループでの出演などフィンランドと日本2つの祖国において幅広い活動を展開。

「映像で見る藤沢周平作品」

文：L. 帯谷行夫（鶴岡LC）
画：三浦恒祺氏



『蟬しぐれ』（映画）

公開年月日：2005年10月

脚 本：黒土三男

プロデューサー：中沢敏明 宇生雅明

制 作：井森 一 島谷能成
早河 洋

音 楽：岩代太郎

監 督：黒土三男

出 演：市川染五郎 木村佳乃

ふかわりょう 今田耕司

緒形 拳 大瀧秀治

加藤 武

藤沢周平さんの数多い作品で、読者が挙げる好きな作品のベストスリーに必ずと云ってもよい程名が出てくる作品が『蟬しぐれ』です。ですから、そのストーリーには触れずに印象深いシーンについて記すことにします。

冒頭に出てくる海坂藩普請組組屋敷裏の清流で洗いものをしていた隣家の娘ふくが、右手中指をヤマカガシに咬まれた。居合わせた文四郎はその指を口にふくみ強く吸い、ふくの指が白くなる程傷口から血を吸い出し、唾と共に吐き捨てしてやる。蛇の恐ろしさに泣き声をもらすふくを諭して家に帰してやる場面が印象的でした。又、藩政を己の恣（ほしいまま）にしようとする家老里村左内の奸計により、切腹させられた父助左衛門の遺骸を大八車に載せ、普請組の家への帰途、矢場町の急坂で精根尽き果てた所へふくが来てくれた。遺骸に手を合わせ、文四郎と力を合わせ車を急坂から引き上げる、ふくの真情が描写された感動的な場面でした。他にも印象に残る場面はありますが、この映画が作られる時、忘れられないエピソードがありました。

黒土監督が小説を読み、何とか映画にしたいものと思い立ち、出版社を通じて藤沢さんにお許しいただきたい旨申し出ましたが、藤沢さんは首を縦に振らなかったそうです。しかし、黒土監督は諦めず、更に脚本を書いて藤沢さんのお手許に届けたそうです。とうとう藤沢さんも根負けしてご承知くださったとの事。若い黒土監督がフリーの立場で、若し興行的に成果を得られなかったなら、莫大な負債を背負うことになるだろう、との気遣いの故に仲々OKを出されなかった、とNHK『知るを楽しむ 私のこだわり人物伝』2005年4・5月号にあります。

ヤマカガシに深く咬まされると、毒が注入され重篤に陥るそうです。しかも、ヤマカガシの血清はマムシの血清のように多くの病院に具備されていないので、非常に危険な蛇であることを大井沢自然博物館で教えていただきました。

お詫び 地区機関誌最上川No.2の「映像で見る藤沢周平作品」の文中で、同じ文節が重複した箇所がありました。紙面を借りてお詫びいたします。